

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
浜田地域	浜田市	平成 24 年度～平成 30 年度	平成 24 年度～平成 30 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	8,348 t	6,037t	7,723t	27.0%
	1 事業所当たりの排出量	1.8t	1.30t	2.3t	-91.1%
	生活系 総排出量	13,360t	10,342t	11,707t	54.9%
	1 人当たりの排出量	151kg/人	101kg/人	174kg/人	-217.8%
合 計 事業系生活系総排出量合計	21,708t	16,379t	19,430t	42.9%	
再生利用量	直接資源化量	1,970t	2,856t	1,265t	-31.3%
	総資源化量	5,225t	5,830t	2,460t	-100.0%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	7,037MWh	4,200MWh	1,337MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	2,014t	1,397t	1,837t	0%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 /目標	
総人口				—	
公共下水道	汚水衛生処理人口			%	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,858 人	15,528 人	11,969 人	77.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.3%	27.6%	22.7%	41%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%	

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

### 【ごみ処理】

#### ○排出量、再生利用

資源化量が減っているがこの要因としては、資源物の店頭回収などが行われており、行政側に回らない資源物がある。  
また、平成30年度から資源とならないペットボトルやプラスチック製品などが可燃ごみとして排出できるようになり、ごみの分別方法が変わったことも要因として挙げられる。そのため、ごみとしての排出量も増えたと考えられる。

### 【生活排水処理】

#### ○合併処理浄化槽等

浄化槽整備は順調に進捗しているものの、下水道整備済み区域の拡大により、浄化槽から下水道へ切り替える家庭が増えていることと、人口減少により設置済み家庭の減少幅が大きかったことが要因と考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで

### 【ごみ処理】

市民に対して、イベントや広告等を通じた、生ごみの水切りや雑がみの排出などの啓発を行いさらなるごみの減量や、リサイクルの実践を推進する。

目標達成年度 令和5年度まで

### 【生活排水処理】

#### ○合併処理浄化槽等

単独浄化槽からの転換補助など補助事業の拡充を行い、浄化槽整備区域内の効率的な整備を図る。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

ごみ処理については、今後も施策の推進、拡充を確実に続け、循環型社会形成に向けた排出抑制、リサイクル率の向上する取り組みに積極的に努められたい。

**【生活排水】**

污水衛生未処理人口の減少に向け、合併処理浄化槽への転換推進及び、広報紙等の啓発活動を強化し、引き続き污水処理人口が増加するよう、経済的かつ効率的な整備を図られたい。